

F様

2010-6-29

カトリック草加教会 信徒 原田重光

バチカンの指針について (ご参考まで)

先日(6/27日曜日)は初めてお逢い致し、神社(神道)に対する他のカトリック教会の一部信徒による失礼な言動について色々とお話を聞かせて下さいまして有り難う御座いました。家内と共に大いに反省すべき一事例と受け止めた次第です。

神道に対するカトリック教会の考え方や、その根本を成すローマ教皇庁(カトリック教会の総本山 通称“バチカン” ローマ市内にある小さな独立国家です)の指針の一部をご参考までに以下にお示ししたいと思います。カトリック教会は当然ながら他の宗教をも尊重していますので、どうかご理解下さいます様お願い致します。

【事例1】私の靖国参拝

私は靖国神社にこの十数年以内に3回ほど参拝しました。その内の1回はカトリック信徒の友人約8名と一緒に行って拝殿で神道に従って祝詞、お払い、二礼二拍手一礼のあとカトリックの祈祷文を唱えたあと本殿へ参上し、用意していた祭文を奏上、御霊に敬意を表したことでした。このカトリックの祈祷文については事前に靖国へ問い合わせ、快諾を頂いていたのです。私は靖国のこの寛大さに感動しました。

【事例2】靖国神社とカトリック教会

敗戦直後、今から約60年前、日本を占領統治していた連合軍では靖国神社はじめ全国の神社を焼き払うべきだとの強い意見が圧倒的だったそうです。

このとき連合軍総司令官マッカーサー元帥は最終決断を下す前に、そのころ上智大学で教えていた駐日ローマ教皇庁使節代理ブルーノ・ビッテル神父に意見を求めました。これに対するビッテル神父の進言は「焼却してはいけません」と言うものでした。これにより靖国ほか全国の神社は存続することとなりました。その進言を以下に示します。

ブルーノ・ビッテル神父の進言(要旨)

自然の法に基づいて考えると、如何なる国家も、その国家のために死んだ人々に対して敬意を払う権利と義務があると言える。それは戦勝国か敗戦国かを問わず、平等の真理でなければならない。無名戦士の墓を想起すれば、以上のことは自然に理解できる筈である。

もし靖国神社を焼き払ったとすれば、その行為は米軍の歴史にとって不名誉きわまる汚点となって残ることであろう。歴史はそのような行為を理解しないに違いない。はっきり言って、靖国神社を焼却することは米軍の占領政策と相容れない犯罪行為である。靖国神社が国家神道の中核で、誤った国家神道の根源であるというなら、排すべきは国家神道という制度であり、靖国神社ではない。

我々は、信仰の自由が完全に認められ、神道、仏教、キリスト教、ユダヤ

教など、如何なる宗教を信仰するものであろうと、国家のために死んだものは、すべて靖国神社にその御霊を祀られるようにすることを進言するものである。

【事例3】葬儀や結婚式など

当然ながら、カトリック教会はカトリック信徒が他の宗教の葬儀や結婚式その他の行事・儀式に参列することを認めています。同様にカトリックの儀式やミサなどへ他の宗教の信徒の方々が参列なさることを受け入れています。

【バチカンの指針】

①「第2バチカン公会議公文書全集」(※1)の中の「現代世界憲章」第28項に次の様に書いてあります。

“社会、政治、宗教の問題について我々と異なった意見を持ち、異なった行動をとる人をも尊重し愛さねばならない。”

②「同上」の中の「キリスト教以外の諸宗教に対する教会の態度についての宣言」第2項には次の様に書いてあります。

“カトリック教会は、諸宗教の中に見いだされる真実で尊いものを何も排斥しない。これらの諸宗教の行動と生活の様式、戒律と教義を、尊敬の念をもって考察する。”

③1936年に出されたバチカンの指針(現在でも有効)は次の様に述べています。

“カトリック信徒は如何なる異教の儀礼をも尊重すべきであり、戦没者への敬意は国民の儀礼である。従ってカトリック信徒の靖国参拝も国民的儀礼として許される。”

【最後に】

ところでバチカンは「カトリック教会のカテキズム」(※2)と言う要理文書の第2442条により教会の政治活動を禁じています。ところが真に残念ながら、これに反してカトリックの一部活動家達が政治活動に熱心で、その中で靖国神社を批判する部分があるのも事実です。一部の活動家とは言えこの様なカテキズム違反に対しては多くのカトリック信徒が反省を求めているところですので、どうかご理解下さいますようお願い致します。

※1. 第2バチカン公会議公文書全集：監修 南山大学

バチカンが全世界に向けて発行している公文書の日本語版です。

発行 サンパウロ 1986年7月初版 2005年6月12刷

本体価格 1850円 A5版 全437頁

※2. カトリック教会のカテキズム：翻訳・監修 日本カトリック司教協議会

バチカンが全世界に向けて発行している要理文書の日本語版です。

発行 カトリック中央協議会 2002年7月初版

本体価格 3600円 A5版 全839頁

上記2冊とも次の書店で買えます

サンパウロ書店：新宿区 四谷1-2 電話03-3357-6401

四ッ谷駅から100m 大通り交差点角

(以上)